



3か所あった事業所を 一拠点に集約

意思疎通がしやすくなり、
社員間で助け合う風土が
生まれた

社員のモチベーションと
生産性が向上した

企業情報

業種

化粧品医薬部外品製造業

事業内容

化粧品医薬部外品製造開発販売、
化粧品輸出入等

創業

1988年12月

代表者

代表取締役社長 川崎 雅代

所在地

(本社)

神奈川県川崎市宮前区馬絹6-20-1
(製造工場(医薬部外品)兼商品センター)
神奈川県川崎市宮前区南野川1-31-31

従業員数

23名

企業紹介

インドの古代医学「アーユルヴェーダ」に基づいた、身体に優しい化粧品などの商品・サービスを開発、提供している。油屋のルーツを元に、「健康産業で人々を元気に」をスローガンとし、人々の健康、美容に貢献することを志として事業を行っている。



<https://www.simura.com/>



一緒に働くことで、心がつながり、心一つになる

従来の課題

- ・事業所が3か所にわかれているため、意思疎通が困難だった

本社事務所・工場・倉庫が3か所にわかれており拠点間の生産状況の把握、連絡調整に多くの時間を要し、朝礼についても各拠点をオンラインでつないで行っていたため、細やかな意思伝達が困難な状況にありました。

また、自社製品のラインナップや製造数量が増え、副次的にOEMの生産量も増加傾向にあり、多品種生産に応じするため作業の質も繊細さが求められるようになってきたことから、新たな製造場所を探す必要がありました。



繊細さが求められる
生産作業

取組概要と実施効果

- ・事業所を集約したことで、社員間の距離が縮まりサポートし合う風土が生まれた
- ・意思疎通がしやすくなり、社員のモチベーションと生産性が向上した

そこで、南野川の新事業所に拠点を集約、新拠点はワンフロアで見通しがよく、オフィススペースから製造現場、物流現場を見渡すことができます。そのため、入荷、製造、検品、出荷までの工程を流れ作業でできるようになり、生産性向上につながっています。また、一緒に働くことで物理的な距離だけでなく心の距離感も近くなり部署間でサポートし合う風土も生まれました。製品の種類や点数も増えている中で、試作から製造工程段階への移行でスケールアップをしていくときに細やかなすりあわせが欠かせません。様々な部門の社員が共に作業することで説明と確認がしやすくなりトラブル回避にもつながっています。朝礼についても、顔の見える形で実施することで仕事への思いや熱意を伝えやすくなり、社員のモチベーション向上にもつながっています。社員はほぼ女性であり、子供の急な体調不良等により仕事を休む際も、必ず他の社員がフォローする仕組みや雰囲気できています。

事業所を集約し、他部署の状況が見えるようになったことで、社員が自ら動いて助け合う環境が醸成されました。

商品の取扱量が増える中で、生産需要に追いつくための生産性の向上だけでなく、様々な業務に携わることができる人材の育成を目指しています。一拠点に人を集約したことで社員間の業務の融通ができるようになり、その目標を後押ししています。

今後はDX化により、さらに情報と意識の共有密度を高めるとともに、生産ラインの自動化など生産拡大に向けた取組を進めて参ります。



代表取締役社長
川崎 雅代